

教育分野および内容

教育分野		内容	記号
一般共通分野	倫理	倫理規定、技術倫理、職業倫理など	A
	一般科学	数学、物理、科学、生物学、統計学、情報理論など	
	環境	地球環境問題など	
	社会経済	国内・海外動向	
	法律	関連法令、知的財産権法など	
	その他	教育、語学、歴史など	
専門分野	総合計画	国土計画、地方・広域計画、都市総合計画・都市計画マスタープラン、立地適正化計画等の総合計画一般に関する計画・調査	B
	土地利用計画	地区及び都市の土地利用計画、地域地区制度活用、地区計画等の土地利用計画一般に関する計画・調査	C
	市街地整備計画	市街地整備計画、オープンスペース計画、都市再生計画、土地区画整理事業計画、市街地再開発事業計画、地区計画、住環境整備事業計画、住宅地計画、団地計画・再生事業計画、中心市街地活性化計画等の市街地整備計画一般に関する計画・調査	D
	交通計画	総合都市交通計画、交通施設計画（鉄道・新交通・LRT・街路・自転車道、駅広等）、公共交通マスタープラン、TDM等交通管理・運用管理計画等の交通計画一般に関する計画・調査	E
	公園緑地計画	緑の基本計画、緑地・公園計画、オープンスペース計画、農とみどりのまちづくり、観光・レクリエーション等の公園緑地計画一般に関する計画・調査	F
	防災	都市防災・地域防災計画、避難計画・誘導、宅地防災等の防災計画一般に関する計画・調査	G
	景観・都市デザイン	景観計画、景観まちづくり、色彩調査・計画、都市空間デザイン、歴史まちづくり等の景観・都市デザイン一般に関する計画・調査	H
	環境・エネルギー	環境基本計画、環境影響評価、低炭素・脱炭素対策、エネルギー供給計画（再生可能エネ含む）、廃棄物政策、上・下水道計画等の環境・エネルギー計画一般に関する計画・調査	I
	住まい・コミュニティデザイン	市民参加・自主まちづくり、担い手育成・支援、防犯まちづくり、多様な住まい方・働き方、プレイスメイキング、住生活基本計画等の住まい・コミュニティデザイン一般に関する計画・調査	J
	健康・福祉	都市・地域の健康・医療・福祉のまちづく計画、ユニバーサルデザイン推進計画等の健康・福祉計画一般に関する計画・調査	K
	都市・地域経営	都市再生、コンパクトシティ形成支援、中心市街地活性化、公共施設政策（再編・ストック管理等）、産業政策（観光・農山漁村振興・流通運輸工業団地計画など）、地方創生、TOD/交通拠点開発、資産活用管理（空家・中古住宅流通など）、リノベーション、土地問題、プレイスメイキング、SDGs、計画・事業効果検証・分析、地方財政・金融等の都市・地域経営一般に関する計画・調査	L
	プロジェクトマネジメント・エリアマネジメント	都市に関連するプロジェクトの計画、設計、進行、財務等の管理、関与主体コーディネートなどのプロジェクトマネジメント一般に関する計画・調査・運営。エリアの価値、魅力、持続性等を高めるためのエリアマネジメント一般に関する計画・調査・運営	M
	その他	上記以外の専門分野	N
周辺分野	報技術、GIS、プログラミング、プレゼンテーション・コミュニケーションスキル、合意形成など	O	
総合分野	総合領域（事業事例等総合性を重視するもの）	P	

都市計画CPD教育形態と算定基準

教育形態と内容				CPD単位計算			上限		備考	
	大分類	小分類		ポイント	単位		1登録	年間		
参加型	講習会、研修会、講演会、シンポジウム、視察会等への参加	111	講習会等の参加	1	時間	1×H	—	—		
		112	都市計画・まちづくり・都市デザイン提案競技への参加	20	回	—	20	—		
	企業内研修等への参加	211	企業内研修プログラムの受講	0.5	時間	0.5×H	—	—		
		212	OJT	0.5	時間	0.5×H	—	10/年		
	学協会等の委員会・専門部会等への参加 ^{*1}	311	委員長・部長として参加	2	時間	2×H	—	}	^{*1}	上限は併せて40
		312	副委員長・委員・幹事として参加	1	時間	1×H	—			
発信型	論文等の執筆・発表	411	論文発表会・国際会議等での口頭発表	0.4	分	0.4×M	—	—		
		412	論文発表会・国際会議等でのポスター発表	4	回	—	4	—		
		413	会誌・学術誌への論文等の執筆（査読論文・依頼論文・招待論文等）	40	編	—	40	—		
		414	会誌・学術誌への論文等の執筆（無審査論文・事例報告等）	10	編	—	10	—		
		415	技術図書の執筆	3	時間	3×H	30	—		
指導型	講習会等の講師	511	学協会・自治体等が開催する講演会、大学等での講義（非常勤のもの）の講師・パネリスト	10	回	—	10	—		
		512	企業内研修の講師・パネリスト	5	回	—	5	—		
	技術指導	611	ワークショップの支援	5	時間	5×H	—	—		
		612	論文発表会・国際会議等の座長	10	時間	10×H	—	—		
		613	論文等の査読	5	編	—	15 ^{*3}	—	一登録につき3編まで登録可	
		614	技術士試験等の模擬面接指導	1	回	1×回	—	—		
	技術協力	711	国・地方自治体等の審議会・委員会等に議長・委員長として出席	2	時間	2×H	—	—		
		712	国・地方自治体等の審議会・委員会等に副委員長・委員・幹事として出席	1	時間	1×H	—	—		
		713	国・地方自治体、研究機関、教育機関、国際機関等への技術協力	2	時間	2×H	—	20/年		
		716	修習技術者等に対する技術指導	1	時間	1×H	—	—		
実務型	資格取得	811	指定資格の取得	20	件	—	20	—		
		812	指定資格以外の取得	10	件	—	10	—		
	表彰	911	学協会等で表彰された業績等（e-job含む）	20	回	—	20	—		
		913	特許取得	40	回	—	40	—		
学習型	自己学習 ^{*2}	1011	学協会等の会誌・学術誌を個人会員として年間購読 ^{*4}	10	年	—	10	10/年	自己学習全体での上限は40/年	
		1012	学協会等の会誌・学術誌、専門図書の購読	0.5	時間	0.5×H	—	—		
		1013	eラーニング	1	時間	1×H	—	—		
		1014	都市プランナーとしての資質向上のための学習	0.5	時間	0.5×H	—	—		
その他	その他	1111	上記以外でCPDに値すると判断されるもの ※事務局にお問い合わせください							

^{*1}「学協会等の委員会・専門部会等への参加」の年間取得上限は40ポイント／^{*2}「自己学習」の年間取得上限は40ポイント／^{*3}一登録につき3編まで登録可／^{*4}当該年度の最終号発行後に登録可

都市計画CPDの流れ

